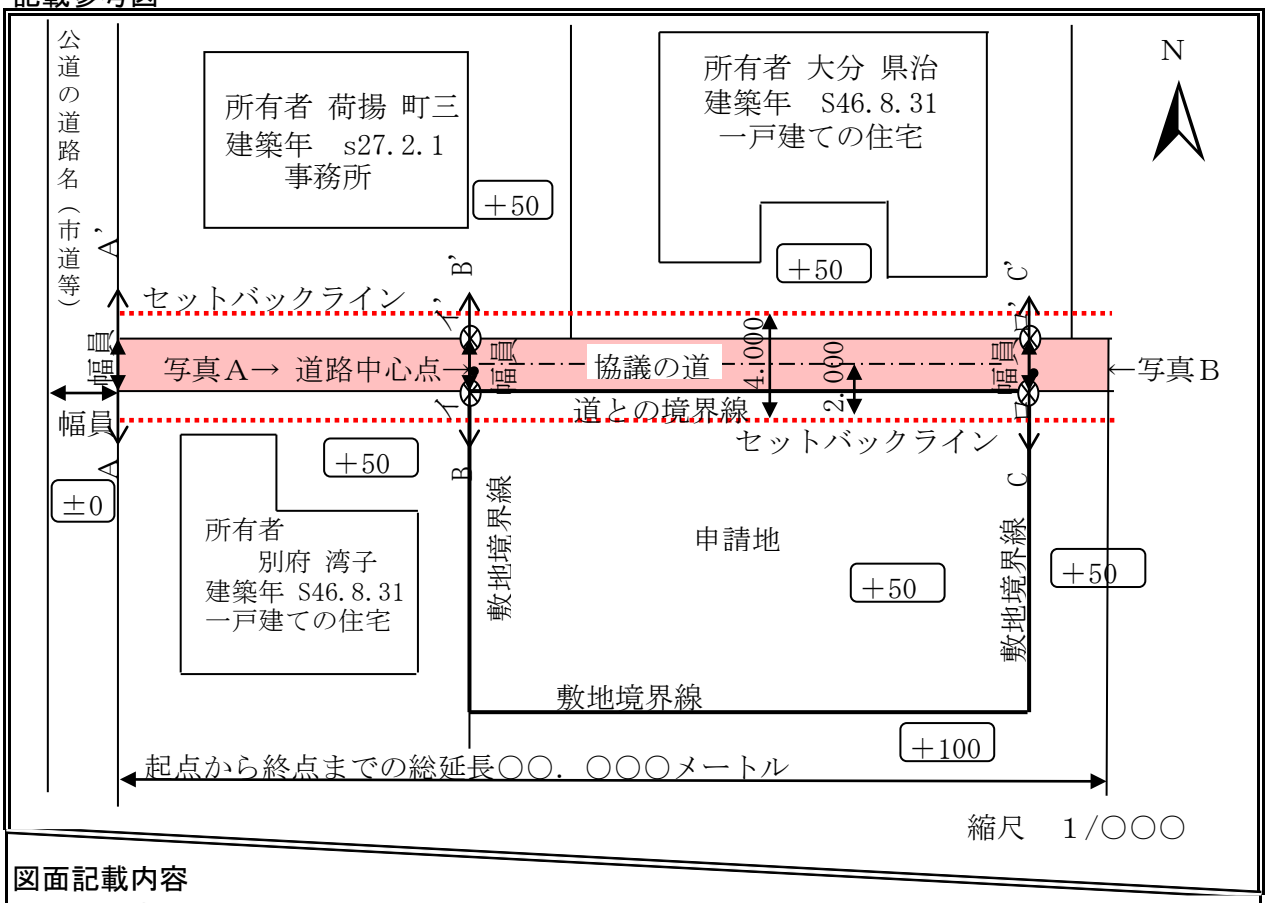
記載参考図



図面記載内容

1． 縮尺
2． 方位
3． 建築基準法上の道路（以下、「公道」という。）
（道路名：国道、県道、市道、位置指定道路等及び幅員）
4． 道の位置（協議部分）
（道の幅：公道との合流点、最狭の場所、終端の三箇所程度）
（公道から道（協議部分）の終端までの総延長を明記）
5． 道と周囲の土地との肯定さ及び状況
（道の始点終点のレベル、道に接する土地のレベル等）
6． 敷地の位置
（道との境界線、敷地境界線を明示）
7． 断面図の切断位置
（三箇所程度、 記入例：A－A’・B－B’・C－C’）
8． 沿道の建物所有者、建築年
（わかる範囲で記入し、わからないものは『不明』と記入）
9． 道の中心線確認の位置は、法以前からあった道路幅員の中心線を示すこと。
幅員が不明な場合は道に接する部分（イ・ロ）の境界及び道の反対側の境界（イ’・ロ’）
も道の管理者と境界確認して道の中心を決めることが望ましい。
10． 写真の撮影位置
矢印で撮った方向を記入
11． 添付書類の（第2面）の位置図（現況配置図）には道の全体が収まるように明記。